

第17回 2019年度定時支部社員総会議事録

一般社団法人日本音響家協会中部支部は、2019年4月23日(火)、18時30分から19時30分まで、名古屋市中区金山一丁目4番10号 名古屋市音楽プラザ 第2控室において2019年度第17回定時支部社員総会を開催した。

定刻になり、支部長丹羽功が議長席に着き開会を宣し、次の通り定数を超える社員の出席があり、本総会が適法に成立していることを告げ議事に入った。

場 所：名古屋市音楽プラザ 3F 第2控室

議決権総数：59、定足数：30、本日の出席社員総数：39名(委任32名)〈66%〉

議長は本総会の「議案書」を提示して「はじめに」を朗読し、第1号議案より逐条的に朗読して提案する旨を告げ、審議を行った。

第1号議案 2018年度 事業報告

- (1) シリーズ事業【1】機器展 (プロ音響機器フェア in NAGOYA 2019)
=2019年2月5日(火)6日(水) 日本特殊陶業市民会館ビレッジホール=
出展企業にご迷惑が掛かると判断し、中止を決定した。
- (2) シリーズ事業【2】邦楽セミナー(藝どころ名古屋で学ぶ 第16回邦楽セミナー「民謡と民謡に使われる色々な楽器」)
=2019年2月26日(火)名古屋市芸術創造センターホール=
- (3) 音響セミナー等実行委員会
併催事業中止等により実施を見送った。
- (4) SET名古屋 (音響家技能認定講座「ビギナーズコース」)
=2018年12月6日(木)10時より17時 名古屋市昭和文化小劇場=
- (5) 会員の交流と親睦を図る見学会等(中部支部 忘年会)
=2018年12月11日(火) 魚河岸酒場 FUKU 浜金 金山店=
- (6) 出版編集サウンドA&T 特集企画編集等
- (7) 会議等(定時支部社員総会・運営委員会)

議長は、以上の議案について提案した後、質疑及び討議を促し、承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。

引き続き第2号議案以下の審議を継続した。

第2号議案 2018年度 決算報告

会計担当役員が本議案書別紙を提示して報告した。

- 別紙 付属明細書 2018年度収支計算書(決算)の通り。

第3号議案 2018年度 監査報告

吉田廣嗣監査が2018年度の運営委員の職務執行の状況及び議案書の事業報告並びに決算報告書について監査し、書面で提出した「監査報告書」を朗読して報告した。

- 別紙 中部支部監査機関による「監査報告書」の通り。

議長は、以上の2議案について提案した後、質疑及び討議を促し、2議案をまとめて承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。

引き続き第4号議案以下の審議を継続した。

第4号議案 2019年度 中部支部事業計画

- (1) シリーズ事業【1】「機器展」
 - ・ 開催について、社会及び業界情勢を勘案し、検討する。

- (2) シリーズ事業【2】「邦楽セミナー」
 - ・2019年度事業として「邦楽セミナー第17回(テーマ未定)」の開催及び内容について検討する。
開催日は、下期。
- (3) 会員のための「音響セミナー」「音響サロン」の開催
- (4) SET名古屋の開催
 - ・2019年度事業として、事業推進委員会は本部事業委員会と共催して「音響家技能認定講座ビギナーズコース」を企画実施する。
- (5) 会員相互の交流を促す「見学会」「親睦会」等の開催
 - ・2019年度事業として、福利厚生委員会は「施設見学会」「懇親会の開催」を企画実施する。
- (6) 編集委員会
 - 編集委員会の2019年度編集方針は、次のとおりとする。
 - ・機関紙特集 運営委員会の協議を基に中部支部編集コンセプトに則したテーマを選定する。
 - ・SEAS Plaza、耳袋への投稿について
協会参加意識高揚の一つの手段として会員に対し、より積極的な方法で寄稿を呼びかける。

議長は、以上の議案について提案した後、質疑及び討議を促し、承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。引き続き第5号議案以下の審議を継続した。

第5号議案 2019年度 収支予算

本議案書の別紙を提示して報告した。

■ 別紙 付属明細書 2019年度収支計算書(予算案)の通り

議長は、以上の議案について提案した後、質疑及び討議を促し、承認を求め、その賛否を問うたところ、出席者全員が拍手を以って承認した。

以上

以上を以ってすべての議事が終了したので、議長は19時30分に閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し議長たる支部長が記名押印する。

2019年4月26日

一般社団法人日本音響家協会
中部支部支部長 丹羽 功 ㊞

自 2018年04月01日
至 2019年03月31日

一般社団法人 日本音響家協会
中部支部

2018年度 収支計算書(決算)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
項目/科目	金額	項目/科目	金額
経常収入		一般管理費	
支部運営費給付金	236,000	消耗品費	0
前年度繰越金	108,262	通信発送費	9,025
租税公課(預り金)	1,043	旅費交通費	73,120
雑収入	1	接待交際費	0
小計	345,306	会議費	12,600
事業収入		借入金返済	184,000
受講料等	75,000	支払手数料	540
協賛広告料	93,607	租税公課(納付金)	1,043
雑収入	184,130	備品費(消耗品)	0
小計	352,737	雑費	0
借入金等		小計	280,328
短期借入金	368,000	事業費	
前年度未収金	0	消耗品費	0
小計	368,000	通信発送費	852
収入合計	1,066,043	謝金等	101,043
		会場費	368,000
		旅費交通費	62,170
		接待交際費	21,600
		ケータリング	14,320
		会議費	0
		賃借料	21,600
		印刷費等	13,020
		雑費	0
		小計	583,165
		支出合計	863,493
		期末剰余金	
		3月期残高	202,550
		※ただし、184,000円の借入金返済未払金を含む	
合計	1,066,043	合計	1,066,043

2019年4月20日

(一社) 日本音響家協会中部支部
支部長 丹羽功 様

(一社) 日本音響家協会中部支部
監査 吉田廣嗣 

監査報告

定款施行細則第59条により、中部支部の2018年度(自2018年4月1日、至2019年3月31日)の事業報告及び決算報告を監査したので下記の通り報告します。

記

1、監査の方法

2018年度の運営委員会に出席、及び各種事業に参加し、2018年度の各種事業報告書、各種報告書及び運営委員会議事録などを閲覧して運営委員の業務執行の状況を監査した。また、2019年4月11日に名古屋市芸術創造センター談話室に於いて、浅野会計の提示した会計書類などを精査して2018年度の会計を監査した。

2、業務監査

(1) 事業報告書

運営委員会が、各担当委員より提出された事業報告書を承認しており、各事業別に執行状況と総括の要旨を議案書に記載して適正に事業報告および決算報告がなされている。

(2) 運営委員の業務の執行

2016年度に支部役員的大幅な異動を行ってから3年が経過し、支部長を先頭に業務の執行がなされ、ほぼ順調に遂行している。

(3) 会議の運営

① 支部社員総会について

支部社員総会の招集手続きは、従来通り「往復はがき」により必要事項を記載し、返信はがきと電磁的方法による出欠の確認と委任状の提出で会員の議決権を保証している。また、会議の議事についても、適正に議事遂行され、議事録も適切に残している。

② 運営委員会について

昨年より委員が参加しやすい曜日開催という事で、毎月第2火曜日開催としてきたが、各委員の主業務の繁忙等により出席率の低下が気になるところであるが、事務局長が議案書を作成して招集するとともに電磁的方法により、出欠確認と、委任手続を行い無届欠席の防止が図られている。会議後は、適切に会議報告がなされていた。

③ 実行委員会等

実行委員会は委員多忙な中、運営委員会時に諮られることもあったが、大方は電磁的方法により進められていた。

3、事業の実施状況

(1) シリーズ事業

① 「第16回邦楽セミナー」(邦楽セミナー実行委員会)

内容も良く、参加者には好評であったが、音楽業界(特にアマチュア、おさらい会)での人口減少が顕著であり、業界におけるニーズも減少しているように思われる。今後も、継続実施していく意義があるかを含め検討が必要である。

② 「プロ音響機器フェア in NAGOYA 2019」(機器展実行委員会)

9回目となる今回は、開催日が北九州での機器展とバッティングしたため参加企業数が少なく中止せざるを得なくなった。前回開催時には参加企業に今年の開催日の告知をしたにもかかわらず、10月の参加受付確認時にはスピーカー音出し試聴3社、展示6社と予定を大きく下回る状況であった。北九州での展示会は、照明と音響の合同展示会で規模が大きく、業界各社がそちらへ流れてしまった。急遽中止やむなしとの判断がなされ、事業中止による損害を最小限にとどめることができたことは不幸中の幸いであった。今後、同じ失敗を繰り返さないよう慎重に実行されることが望まれる。

③ 「機関誌特集の企画編集」

機関紙の特集企画編集は5支部が持ち回り担当している。中部支部は川島編集委員の尽力により毎回ユニークなテーマで企画し続けている。今後も継承されていくことを望む。

(2) 単発事業

「ビデオプロジェクターセミナー」や「新装オープンした御園座見学会」等が企画されていたが、実施出来なかったことはまことに残念であった。

① SET名古屋、ビギナーズコース」(SET実行委員会)

本部事業と共催で昨年度に引き続き実施した。講師について、西日本からの2名の応援派遣で実施したが、次年度は中部支部の講師にて実施できるよう準備しているので、期待したい。

4、会計監査

毎月の会計報告、会計帳簿、入出金伝票類、預金通帳及び手持ち現金を精査したところ、全て適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

以上

自 2019年04月01日
至 2020年03月31日

一般社団法人 日本音響家協会
中部支部

2019年度 収支計算書(予算)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
項目/科目	金額	項目/科目	金額
経常収入		一般管理費	
支部運営費給付金	236,000	消耗品費	5,000
前年度繰越金	140,000	通信発送費	10,000
租税公課(預り金)	5,000	旅費交通費	120,000
雑収入	1,000	接待交際費	0
小計	382,000	会議費	12,000
事業収入		借入金返済	584,000
受講料等	80,000	支払手数料	2,000
協賛広告料	769,000	租税公課(納付金)	5,000
雑収入	1,000	備品費(消耗品)	5,000
小計	850,000	雑費	2,000
借入金等		小計	745,000
短期借入金	400,000	事業費	
前年度未収金	0	消耗品費	10,000
小計	400,000	通信発送費	10,000
収入合計	1,632,000	謝金等	120,000
		会場費	400,000
		旅費交通費	150,000
		接待交際費	4,000
		ケータリング	20,000
		会議費	0
		賃借料	150,000
		印刷費等	20,000
		雑費	2,000
		小計	886,000
		支出合計	1,631,000
		予備費	
		予備費	1,000
合計	1,632,000	合計	1,632,000

今年度当初支部会員数 59